



新発田市立紫雲寺小学校

# 学校だより 12月号

<http://shionjies.shibata.ed.jp> 平成22年12月21日

## 6つの「こ食」について

紫雲寺小学校長 小林 幹雄

2学期もいよいよあと数日となりました。昨年のような寒波、大雪がなく、穏やかな日が続いています。2学期は、ファミリー遠足の中止、持久走大会延期など、屋外の行事は天候に恵まれませんでした。しかし、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解、ご支援、ご協力で無事に2学期を終えることができそうです。ありがとうございました。

9月号でもお知らせしましたが、今年から紫雲寺小学校では「人のいたみがわかり、差別や偏見を許さない人権感覚を育てる」ために、同和教育に取り組んでいます。2学期は多くの学級で道徳の時間を中心に同和教育の研究授業が行われました。低学年、中学年は、身近にありそうな問題を通して、また、5年生は新潟水俣病、6年生は全国水平社についての学習を通して、差別や偏見を許してはいけないことを学び、正しい行動がとれるように学習してきました。子どもたちだけでなく、職員も自らの人権感覚を磨く場となりました。詳細については次のページをご覧ください。

さて、12月には市内の学校給食の栄養士の先生方を迎えて、磯部教諭と齋藤栄養教諭のTT指導で、食育の授業も行われました。5年生の家庭科「作っておいしく食べよう」で、ごはんと味噌汁の実習を含め、食事のバランスについて学習する単元です。授業は、ごはんと味噌汁に合わせて自分なりに献立を考える学習でした。野菜などのバランスを考えている子もいれば、この際、食べれるだけ食べようとまるでバイキングのように、ラーメン、ピザ、デザートなど好きなもののオンパレードの子もいました。しかし、友達の助言や発表を参考にバランスの大切さに気付いていきました。各自が家に帰って、学習を生かして味噌汁作りに挑戦したそうです。バランスや味はいかがでしたでしょうか？

新発田市では、食を通して生きる力を育む「食とみどりの新発田っ子プラン」を推進しています。育てる（花や野菜の栽培・稲作体験など）— 作る（生活科や総合の時間、家庭科、PTA行事など）— 食べる（給食、学級活動など）— 返す（リサイクル）（残さの水切り選別、残さから堆肥作りなど）が、学校の取組です。紫小でも6月から残さのリサイクルに取り組んできました。食物を大切にするという視点から指導をしています。少しずつ給食の残しが減ってきており、効果が出てきているようです。

子どもたちをめぐる食の問題について、服部栄養専門学校の服部幸應さんは、次のように述べています。

『朝食抜きや、バランスの崩れた食事をしている学生が多く、将来、食を指導する職業に就くことを考え、卒業までに改善するよう話し、2年後に再度調査した。50%くらいは改善されるだろうと推測していたが、現実には6%の改善しか見られなかった。朝食抜きについては、7%から15%に増えていた。このことから、食生活の改善は青年期ですでに遅い。子どもの頃（小学校3年生くらいまで）に正しい食習慣を身につけさせることが大切だ。』

また、現在6つの「こ食」の問題があるそうです。「個食」……個人個人が違うもの、好きなものを食べている、「孤食」……家族が食卓をともしない、それぞれ違う場所で食べる、「固食」……自分の好きなものだけを固定的に食べる、「小食」……食欲がなく、食べる量が少ない、「濃食」……味の濃い物ばかり食べる、「粉食」……米を食べずに粉を素材にした主食（パンやピザなど）を食べる。の6つだそうです。それぞれにどんな問題があるか分かりますか？思い当たるものがあるのでしょうか？考えてみてください。

冬休みは降雪も予想されますが、どうぞ、一家団らんで、温かく食卓を囲んでください。前庭の椿のつぼみがふくらんでいます。これから迎える厳しい冬を前に、もう春の準備をしているんですね。よいお年をお迎えください。

## 同和教育の視点に立った道徳の授業実践（その3）

当校では、縦割り班（ファミリー）活動や「心の花束」づくり、人間関係スキル学習、「もっとH Tに心をつなごう」集会などを通して、子どもたちの自己肯定感を高め、良好な人間関係と思いやる心を育て、差別やいじめのないH Tな学校づくりに努めています。

これらをベースにしながら、同和教育の視点に立った道徳の授業研究を進めています。研修の後半では、今までの実践の成果を踏まえ、更に授業を支える力として、自分の考えを理由を添えて書くことができ、それを話すことができるように、「書く力」と「話す力」を育てていくことを重点として進めてきました。授業では、一人一人自分の考えを書き、それをもとに発表したり話し合ったりする姿や授業の最後に自分の考えをまとめて書き上げる姿が見られました。

### 【5年生の実践】 単元名「水俣病から学ぼう 差別について考える」

資料『新潟水俣病聞き書き集』

小武節子さん手記「いっち うんめえ 水らった」より

18時間扱いの単元構成で、自分たちで新潟水俣病について調べたり、新潟水俣病資料館に出かけ見学し患者の方から直接話を聞いたりしながら学習を進めてきました。本時は、小武さんの手記を読んで、水俣病認定申請している被害者がつらい差別や中傷を受けながらも裁判を起こした勇気について考えることを通して、正しい理解者が周りにいたことを知り、自分も差別をなくしていこうとする気持ちの育成を目指した授業が提案されました。授業では、ポストイットを活用し自分の考えをまとめ、それをもとに話し合いが行われました。



### 【2年2組の実践】 主題「見ているだけでは解決しない」

資料『たかさんの黄色いズボン』（生きる ）より

つらい思いをしているたかさんの気持ちと周りの友だちの思いを考えることを通して、あだな・からかい・仲間外しなどに対して、見ているだけでなく、自分ができることを考えて行動しようとする態度を育成することを目指した授業が提案されました。資料に出てくる登場人物を差別者、被差別者、傍観者の立場を明確にし、傍観者の行為も差別的な行為であることに気付かせ、差別に立ち向かう行動意欲を高めていきました。当日は、新発田市教育委員会の駒澤一彦指導主事様、齋藤優夫係長様からも参観していただきご指導を賜りました。





**【6年生の実践】 単元名「差別を許さず立ち向かう勇氣」**  
**資料『人の世に熱あれ、人間に光あれ - 西光万吉の半生 - 』**  
**(生きる )より**

17時間扱いの単元構成で、歴史学習と関連を図ったり、生きる の資料を活用したりしながら、被差別部落の人たちがどのような差別や扱いをされてきたか。また、被差別部落の人々が担ってきた仕事がどれだけ日本の文化や歴史を支えてきたかを学習してきました。本時は、厳しい差別に傷つき苦しみながらも、万吉自身の強い思いと仲間との支え合いの中で差別からの解放に向け、全国水平社設立に大きく貢献した西光万吉の生き方に共感し、自分も仲間と支え合いながらいじめや差別に対して行動を起こそうという気持ちの育成を目指した授業が提案されました。授業では、万吉の気持ちに迫るために心情曲線を取り入れたり、各自がポストイットに書いた考えをもとにグループでの話し合いを取り入れたりしながら授業のねらいに迫りました。



**WYSH教育を取り入れた保健学習**  
**【4年生の実践】 単元名「育ちゆく体とわたし」テーマ：すてきな大人になろう**

保健学習と総合的な学習の時間を使い7時間扱いの単元構成で、担任と養護教諭によるT・T・形式で行われました。子どもたちが自分の将来像を明るくとらえ、希望をもって自己肯定感を高め、自分らしく生きることによって自己実現を果たしてほしい。よりよい人間関係を築き、充実した社会生活を送ることができる大人になってほしい。という願いをもって授業が行われました。

＜主な内容＞

1年生から4年生までの身長伸びを調べ、成長には「個人差」「男女差」があることを知る。  
 「高校生が大人かどうか」のシルエットクイズや大人と子ども、男子と女子のちがいくイズや声あてクイズ、思春期における男女の発育の違いや体のしくみ学習を通して、思春期におこる心や体の変化について知り、自分の成長を肯定的にとらえる。  
 給食メニュー調べや睡眠クイズなどの健康ゲームを通して、よりよい発育のために、食事・運動・睡眠を日々の生活の中でどのようにしていくとよいか考える。  
 学校で働く人たちに仕事の大変さや喜びについてインタビューし新聞にまとめ発表する。担任や養護教諭からの将来へのメッセージを聞き、メッセージビデオ視聴する。最後に「自分はどんな大人になりたいか」まとめる。



**【WYSH教育とは】 ~性教育から生きる教育へ、予防教育から希望教育へ~**

WYSH教育は、24万人の児童生徒の調査結果と行動理論やコミュニケーション理論などいくつかの理論を基に、児童生徒の現状に即して日本で開発された教育です。実施にあたっては、各学校の調査分析を十分に行い性だけでなく、いじめや携帯電話など最も予防教育が必要なテーマでプログラムを組み立てて実施する教育です。

\* おめでとうございます！ 松原っ子の活躍 \*

第41回県ジュニア展

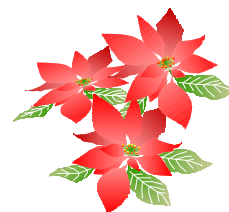
奨励賞	3年	さん		
	6年	さん	6年	さん

新大全国硬筆大会

準特選	3年	さん	5年	さん
-----	----	----	----	----

第7回新潟教育アート展

優秀賞	3年	さん	奨励賞	1年	さん
-----	----	----	-----	----	----



<p>&lt; 11・12月の生活目標 &gt;</p> <p>「もっと H T に 心をつなごう」</p> <p><b>あかるく なかよく たのしい あなたの紫雲寺小学校</b></p>
<p>紫雲寺小学校のみんなで大事にしたいことを、各クラスで考えて取り組みました。さらにみんなの心がH Tにつながってきています。</p> <p>「心の花束」に、お友だち・担任・おうちの方からも、たくさんのお花のカードが集まりました。心に思っているだけでは、伝わらないこともあります。お花のカードに、実際にみんなからいいところを書いてもらって、ニコニコ笑顔で、やる気アップ!!した子どもたちです。おうちの方には、お忙しいところ、「ほめほめメッセージ」に、ご協力いただきありがとうございました。</p>
<p>こんなすてきな「あなたの紫雲寺小学校」にぴったりな行動を見つけました。</p> <p>●1年生教室では、帰りの会で自分の机の周りのゴミを拾うことになっています。その時に、自分の机の周りだけでなく、教室のあちこちのゴミを拾ってくれる子がいます。その姿を見た他の子たちも同じように拾ってくれるようになりました。おかげで、教室はすっきりしています。</p> <p>●お掃除の時に、ベランダに落ちているハンカチを見つけた5年生の子がいました。その子は、拾って洗って乾かしておいてくれました。拾っただけでなく、洗って乾かしてくれるその気持ちが嬉しいです。</p>

各クラスで考えた大事にしたいめあて



<p>1・2月の生活目標『～広げようあいさつの輪～ 進んであいさつをしよう』</p>					
<p>校舎に子どもたちのあいさつの声が響き合うことを願い、3学期も2学期に引き続いて全校あいさつ運動に取り組んでいきます。「元気で気持ちのよいあいさつを心がけること」「相手が言うのを待つのではなく、自分から進んであいさつをすること」をめあてとして頑張ります。</p> <p>1月12日(水)からは、地区登校班による朝のあいさつ運動も始まります。朝少し早めの登校となりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>					
日(曜)	地区	日(曜)	地区	日(曜)	地区
12日(水)	稻荷岡3	14日(金)	小川	19日(水)	稻荷岡1・2
13日(木)	下中沢・福富	17日(月)	長島	20日(木)	上真中
	下古田・本下真中	18日(火)	関稲	21日(金)	大島

<p>&lt; 1月の予定 &gt;</p>	
<p>7日(金) 第3学期始業式、口座振替日</p> <p>11日(火) 縄跳び運動月間(～28日) 給食開始</p> <p>18日(火) 民生委員・児童委員との懇談会</p> <p>23日(日) フリー参観・懇談会</p>	<p>23日(日) 校内書き初め展(～28日)</p> <p>24日(月) 振替休業日</p> <p>25日(火) 学校給食週間(～28日)</p> <p>27日(金) 招待給食</p> <p>28日(金) 全校漢字テスト</p>